

防災訓練の結果の概要（要素訓練）

1. 訓練の目的

本訓練は、「女川原子力発電所 原子力事業者防災業務計画 第2章 第8節」に基づき実施するものであり、あらかじめ定められた原子力災害時における応急対策または復旧対策等に関する手順の検証、習熟を行うとともに、体制、資機材の取扱いに係る実効性について検証し、改善を図ることを目的に実施したものである。

2. 実施日および対象施設

(1) 実施日

2023年4月1日～2024年1月31日

(訓練毎の実施日、訓練項目については添付資料参照)

【発電所】原子力災害医療訓練、モニタリング訓練、その他必要と認められる訓練

【本店】災害対策支援拠点对応訓練

(2) 対象施設

女川原子力発電所 1、2、3号機

3. 実施体制および参加人数

(1) 実施体制

訓練ごとに実施責任者および評価者を設け、実施担当者が訓練を行う。

詳細は、添付資料のとおり。

(2) 参加人数

添付資料のとおり。

4. 防災訓練の内容および防災訓練のために想定した原子力災害の概要

【発電所】

(1) 原子力災害医療訓練

発電所における初期対応（除染・応急手当）や原子力災害医療関係機関への情報連絡、関係機関と連携した原子力災害拠点病院への搬送等を実施する。

(2) モニタリング訓練

炉心損傷発生の可能性や構内モニタリングポストの機能喪失（測定データ伝送異常含む）を想定し、可搬型モニタリングポストを設置して空気吸収線量率の測定を実施する。

(3) その他必要と認められる訓練

a. 電源機能等喪失時対応訓練

全交流電源喪失、原子炉除熱機能喪失および使用済燃料プール除熱機能喪失等を想定し、個別の緊急時対応を実施する。

b. 緊急事態支援組織対応訓練

高放射線量下において、現場偵察ロボットによる現場調査を想定し、現場偵察ロボットの障害物回避操作、掴み取り操作等を実施する。

【本店】

(1) 災害対策支援拠点对応訓練

原子力災害が発生し、電源や注水等の各種設備は復旧したが、除熱機能が復旧できず、ベントを実施。周辺地域に放射性物質が放出され、放射性プルーム通過後の状況を想定し、災害対策支援拠点においてスクリーニング、除染活動を実施する。

5. 防災訓練の項目

要素訓練

6. 防災訓練の結果の概要（添付資料参照）

【発電所】

(1) 原子力災害医療訓練

発電所管理区域内での被ばくを伴う傷病者発生を受け、現場での救助活動について重要な情報を整理し、本部に報告できることを確認した。

(2) モニタリング訓練

可搬型モニタリングポストを設置し、空気吸収線量率の測定が定められた手順に従い、実施できることを確認した。

(3) その他必要と認められる訓練

a. 電源機能等喪失時対応訓練

(a) 全交流電源喪失および使用済燃料プール除熱機能喪失等を踏まえた個別の緊急安全対策について、原子力防災要員により確実に実施できることを確認した。

(b) 訓練により発電所の機器へ直接影響が生じるものは模擬とし、現場での動作確認が実施できることを確認した。

b. 緊急事態支援組織対応訓練

現場偵察ロボットの障害物回避操作、掴み取り操作等が確実に実施できる習熟度であることを確認した。

【本店】

(1) 災害対策支援拠点对応訓練

災害対策支援拠点（女川地域総合事務所跡地）でのスクリーニングエリアの設定および防護服を着用した状態でスクリーニング、除染活動が実施できることを確認した。

7. 訓練の評価

各要素訓練について、定められた手順に従い実施し、手順の有効性と対応要員の習熟を確認したこと、体制の実効性を確認したこと、資機材の取扱いについて改善を図るとともに、その実効性を確認したことから、訓練目標を達成したものと評価した。

8. 今後の原子力災害対策に向けた改善点

当該期間中の各要素訓練における改善点および今後に向けた改善点は、添付資料のとおり。

以 上

〈添付資料〉要素訓練の概要

【発電所】

1. 原子力災害医療訓練（訓練実施日：2023年12月14日 参加人数：13名）

概要	実施体制 (①実施責任者、②実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後の原子力災害対策に向けた改善点
管理区域内で、汚染を伴う傷病者の発生連絡を受け、除染室における応急処置対応等の訓練を実施	① 総務課長 ② 総務グループ員	良	特になし。	来年度も訓練を継続し、習熟を図る。

2. モニタリング訓練（訓練実施日：2023年6月29日、2023年7月31日、2023年9月25日 参加人数：延べ14名）

概要	実施体制 (①実施責任者、②実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後の原子力災害対策に向けた改善点
可搬型モニタリングポストを用いた空気吸収線量率の測定訓練を実施	① 放射線管理課長 ② 放射線管理グループ員	良	特になし。	来年度も訓練を継続し、習熟を図る。

3. その他必要と認められる訓練

(1) 電源機能等喪失時対応訓練（訓練実施日：適宜反復訓練を実施（当該期間内で計21回実施）、参加人数：延べ136名）

概要	実施体制 (①実施責任者、②実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後の原子力災害対策に向けた改善点
緊急時の電源確保に係る訓練 電源車および大容量電源装置等による電源確保の手順の実動訓練や机上訓練等を実施 非常用ディーゼル発電機運転のための燃料抽出、輸送、補給の手順の実動訓練や机上訓練等を実施	① 電気課長、原子炉課長および発電管理課長 ② 電気グループ員、原子炉グループ員、工程管理グループ員、計測制御グループ員および発電管理グループ員	良	電源車ケーブル接続前の事前確認時に片手作業が目立っていたため、片手作業がされないよう、事前勉強会等にて周知し、改善を図った。	来年度も訓練を継続し、習熟を図る。

概要		実施体制 (①実施責任者、②実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後の原子力災害対策に向けた改善点
緊急時の最終的な除熱機能の確保に係る訓練	代替注水車等による原子炉への代替注水等の実動訓練や、ライン構成等の一連の動作確認を実施	① タービン課長 ② タービングループ員、保全計画グループ員、検査グループ員および防災グループ員	良	ホース敷設経路の確認後に水位および温度を測定し、ドアストッパーを使用することとなっており、動きに無駄があるため、操作手順の改正を行い、順不同で実施可能であることを明記し、改善を図った。	来年度も訓練を継続し、習熟を図る。
	代替注水車等による使用済燃料プールへの注水の実動訓練を実施	① タービン課長および原子燃料課長 ② タービングループ員、保全計画グループ員、原子燃料グループ員、輸送・固体廃棄物管理グループ員、検査グループ員および防災グループ員			
シビアアクシデント対策に係る訓練	可搬型モニタリングポストを用いた空気吸収線量率の測定訓練を実施（「１．モニタリング訓練」再掲）	① 放射線管理課長、土木課長および建築課長 ② 放射線管理グループ員、輸送・固体廃棄物管理グループ員、廃止措置管理グループ員、土木グループ員および建築グループ員	良	特になし。	来年度も訓練を継続し、習熟を図る。
	全交流電源喪失時における可搬型設備の通行障害の排除等を模擬したホイールローダ等の実動訓練を実施				
	緊急対策室電源喪失時における事務新館屋上ディーゼル発電機による給電操作の実動訓練を実施				

(2) 緊急事態支援組織対応訓練（訓練実施日：2023年11月28～29日、参加人数：3名）

概要	実施体制 (①実施責任者、②実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後の原子力災害対策に向けた改善点
美浜原子力緊急事態支援センターより派遣された講師から指導を受け、現場偵察ロボットの障害物回避操作、掴み取り操作等を実施	① 防災課長 ② 廃止措置管理グループ員、 保全計画グループ員および 防災グループ員	良	特になし。	来年度も訓練を継続し、 習熟を図る。

【本店】

1. 災害対策支援拠点対応訓練（訓練実施日：2023年10月12日 参加人数：27名（他社4名を含む））

概要	実施体制 (①実施責任者、②実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後の原子力災害対策に向けた改善点
災害対策支援拠点対応訓練 放射性物質の放出後を想定し、本店から女川地域総合事務所跡地へ移動し、スクリーニング活動、除染活動について、防護服を着用した状態での訓練を実施	① 原子力品質保証室 副室長 ② （本店） 原子力品質保証室員、 原子力運営グループ員、 原子力技術グループ員、 原子力設備グループ員、 原子力人材育成グループ員、 放射線管理グループ員および 原子力防災・防護グループ員 （東通原子力発電所） 防災課員および機械保修課員	良	特になし。	来年度も訓練を継続し、 習熟を図る。
事業者間協力協定対応訓練 事業者間協力協定に基づき、他事業者と当社本店間で、初動対応および支援要請等の内容の確認を実施 要員の派遣を受け女川地域総合事務所跡地にてスクリーニング活動を実施				